

共通教育科目の学び方

～共通教育科目履修ガイド～

2026

共通教育科目は・・・

- ✓ 教養科目
- ✓ 環境系科目
- ✓ 社会連携・国際理解科目
- ✓ キャリア・アントレプレナーシップ系科目
- ✓ 言語系科目
- ✓ 理数系科目

これら6つのグループに分かれています！

教養科目、環境系科目、社会連携・国際理解科目
キャリア・アントレプレナーシップ系科目・・・P. 1～3

言語系科目・・・P. 4

理数系科目・・・P. 5～6

相談窓口、マップ・・・P. 7

共通教育科目の履修で
迷ったらこの冊子を参照すれ
ばいいんだね



皆さんの履修のバイブルは『学生便覧』です。

学位取得に必要なことや学内施設・設備、
制度等について詳しく書かれています。

いつでも確認できるように、

学生便覧2026年度版を

ダウンロードまたは印刷しておきましょう。

また、学生便覧 P.23-27の

『修学上知っておきたいこと』をよく読んで
おきましょう。

さあ新たな知識と出会い
未来への創造の扉を開けよう



日本工業大学
共通教育学群
TEL: 0480-33-7571

<https://www.nit.ac.jp/original/common/>

教養科目

環境系科目

社会連携・国際理解科目

キャリア・アントレプレナーシップ系科目

教養科目とは

社会人として必要な教養を身につけるための科目です。人文科学、社会科学、自然科学及びスポーツのさまざまな科目があります。また、新入生の皆さんが、高校までとの違いを知り、大学生として自律的に学ぶ力を身につけるための科目もあります。これらの科目を幅広く学ぶことで、エンジニアとして、また社会を構成する市民としてのアイデンティティを確立し、主体的に生きる力を身につけることを目指します。



環境系科目とは

持続可能な環境共生社会の一員としての基礎知識を学び、環境の問題を意識して具体的、総合的に考えて自ら発信できる力を身につけます。ものづくりをする人としても社会人としても、欠かせない基準となるものです。

社会連携・国際理解科目とは

社会で必要な基礎知識をはじめ、起業までを見据えたキャリア形成、地域連携を実践的に学ぶ社会連携科目と、英語での研究・発表能力を向上させ国際理解を深める科目、留学生向け科目が含まれます。多くが各種センター等で開設している科目です。

キャリア・アントレプレナーシップ系科目とは

学生の皆さんの多くが卒業後に向き合うであろう「仕事・ビジネス」の現場で必要とされる視点や心構えを学び、社会人としての常識と強みを身に着ける準備を行う科目です。大学生活を通じて就職活動の準備を行う「キャリア系」の授業と、将来社会人として新しいビジネス・プロジェクトの立ち上げやリーダーシップを発揮する際に必要なアントレプレナーシップ（企業家精神）を学ぶ「イノベーション系」に分かれています

「スタディスキルズ」「学修と実工学」
「大学生のための文章読解」

⇒ 1年での履修を推奨！

教養科目の「スタディスキルズ」「学修と実工学」「大学生のための文章読解」は、特に1年生の間に履修することを推奨します。これらの科目では、大学4年間の学びを確かなものにするために、読み、考え、書き、形にすることを学びます。大学生としての学び方を知り、主体的に学ぶ力を養う科目群です。

各科目の詳細は、ポータルサイトの「シラバス検索」から参照することができます。各自の興味関心や必要性に応じて、春学期にまずはこの中から1科目履修して、大学生としての自信を深めましょう。







1年生 春学期 時間割



茶：教養科目、緑：環境系科目、青：キャリア・アントレプレナーシップ系科目
紫：社会連携・国際理解科目の4グループのみ抜粋

★：遠隔授業

*：学科指定あり (*1= CAL、*2= RI、*3= D、*4= ME、*5= MECRD、*6= RID、*7= AL、*8= MERDA)

	1時限	2時限	3時限	4時限
月曜日	大学生のための文章読解 *1 実社会の数学 健康とスポーツ	大学生のための文章読解 *1 心理学 科学へのいざない★ 実社会の数学 健康とスポーツ *5 現代社会の基礎知識 I エコ入門★	健康とスポーツ	
火曜日	学修と実工学 大学生のための文章読解 *2 法学（日本国憲法）★ 健康とスポーツ	学修と実工学 大学生のための文章読解 *2 法学（日本国憲法）★ 健康とスポーツ *6	健康とスポーツ	
水曜日	心理学 実社会の数学 健康とスポーツ エコ入門★ Focus on Inter-Cultural Communication	スタディスキルズ 心理学 *8 実社会の数学 健康とスポーツ *7		
木曜日	学修と実工学 大学生のための文章読解 *3 科学へのいざない★ 健康とスポーツ エコ入門★ Focus on Inter-Cultural Communication	学修と実工学 大学生のための文章読解 *3 健康とスポーツ	スタディスキルズ エコ入門★	
金曜日	大学生のための文章読解 *4	大学生のための文章読解 *4 エコ入門★	心理学	
土曜日	ものづくり基礎実習 I	ものづくり基礎実習 I	ものづくり基礎実習 I	ものづくり基礎実習 I

➤履修方法

- 必修以外の科目は、教養科目、環境系科目、キャリア・アントレプレナーシップ系科目、社会連携・国際理解科目、（および言語系科目、理数系科目）から自由に選ぶことができます。
- 自分で履修する科目を選び、履修登録をする必要があります。**
- 同じ科目が複数の曜日・時限に開講されている場合は、**どれか1つの曜日・時限を選んで履修してください。**
- いずれの科目も、2年以降に履修することもできます。また、2年以上の学生を対象として開講される科目もありますので、1年春学期に無理をしてたくさん履修する必要はありません。専門科目、必修科目の修得を優先した上で自分のペースで履修を進めていき、卒業までに必要な単位を修得するようにしてください。
- 共通教育科目の卒業要件単位数は38単位以上です。**
言語系科目と理数系科目から11単位以上を修得し、それ以外を教養、環境系、キャリア・アントレプレナーシップ系・社会連携・国際理解科目から修得します。

卒業要件 >>>> 【教養】 【環境】 【社会連携・国際理解】 【キャリア・アントレプレナーシップ系】
と【言語系】 【理数系】を合わせて38単位以上修得すること

「ものづくり基礎実習Ⅰ」の履修について

実習や工作の経験が少ない学生や、金属加工、木材加工、電子工作などの基礎を総合的に体験したい学生向けの科目です。1年生のみ受講が可能です。

- 安全に作業できるよう定員を200名に制限しています。200名が50名ずつ4つの時間帯に分かれて受講します。
- 4つの時間帯とは、隔週の前半か後半か、午前（1、2時限）か午後（3、4時限）かです。いずれかの時間帯で2コマ連続で受講します。
- 受講希望者はポータルサイトで案内している①『ガイダンスと安全衛生講習』を視聴し、②『受講希望調査および安全衛生クイズ』に必ず回答してください。

締切：4月8日（水）15:00（厳守）

- 回答が履修の申込みとなり、それに基づき班分けがわれ、受講する時間帯が割り振られます。
- 回答が無いと履修登録だけでも受講は認められません。
- 班分け結果はポータルサイトで

4月9日（木）15:00

に掲示します。



QRコードは科目紹介動画へのリンクです

「健康とスポーツ」（スポーツ実技）の履修について

春学期と秋学期で種目が異なります。春学期は体育館スポーツ（木曜2限のみ軽スポーツ）、グラウンドスポーツ、ソフトテニスから、秋学期は体育館スポーツA、体育館スポーツB、ソフトテニスから選択します。希望する種目に応じて春学期、秋学期のいずれかで履修してください。

※体育館スポーツ（バスケットボール、バレーボール）、グラウンドスポーツ（サッカー、ソフトボール）

第1回目の授業でガイダンスと種目の選択を行います→普段着で体育館に来てください。

※各時間、種目の人数の上限があり、希望に沿えない場合があります。詳細は第1回目の授業にて説明をします。

▶ 学修サポート体制

学修支援センター

英語・数学・物理のチューターが常に複数名待機しています。

授業内容で分からないところが出てきたら、まずは気軽に訪れてみましょう。

専門科目に関する質問も、SA（スチューデントアシスタント）の先輩に質問することもできます。

履修相談や学修方法のアドバイスなども受けることができます。

学修相談時間は、平日の10:00～17:00です。場所は背表紙のマップを参照してください。

教員のオフィスアワー

授業内容について、担当教員に直接質問をしたい場合は、オフィスアワーを利用しましょう。オフィスアワーは、全ての教員が週に4コマずつ設定しています。

質問をしたい教員のオフィスアワーを、ポータルサイトで調べてから研究室を訪ねましょう。

ポータルサイトでの各教員のオフィスアワーの参照方法

- ① 上部メニューから【共通】→【教員スケジュール】選択。
- ② 【教職員検索】で、氏名、学科、授業名などで検索。

共通 ▾ 授業・履修関連 ▾ 成績・出欠 ▾ 教室予約 ▾ マイステップ ▾ 学修ポートフォリオ ▾ 履修カルテ



➤ 教職課程を履修する予定の皆さんへ

教職課程を履修して教員免許状を取得しようとする場合は「**法学（日本国憲法）**」が必修科目となります。その他にも「**健康とスポーツ**」「**生涯スポーツ**」（2年対象科目）のいずれかを修得する必要があります。さらに「**健康科学**」（2年対象科目）も必修科目となります。卒業までに修得してください。

女子学生のための生理休養『F休養』



月経での体調不良による出席困難を考慮し、共通教育科目と専門科目の授業で運用しています。詳しい内容は右のQRコードからフライヤーを見て確認してください。（フライヤーはオリエンテーションでも配布されます）



言語系科目

「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」（必修）では、基礎的な英語の語彙・文法・読解力を身につけます。「英語Ⅰ」（春学期）は入学時のプレースメントテストの結果に応じて、推奨クラスが提示されます（下記参照）。「英語Ⅱ」（秋学期）の推奨クラスは「英語Ⅰ」の結果によって決まります。必修2科目を修得したあとは、選択科目「英会話」「プレゼンテーション」「上級英語」から一つを選び、履修します。自分の興味に合わせた科目を履修し、工学の研究や最新情報の理解に必要な英語の読解力、英語で意見を伝える力、国際的に活躍するエンジニアに必要なコミュニケーション力を身につけます。秋学期の集中講義科目として「海外英語セミナー」もあります。卒業要件として、言語系科目から合計6単位以上が必要です。なお、留学生は英語科目に代えて日本語科目を履修できます。

赤字：必修科目（3年⇒4年の進級要件）



1年必修科目

2年選択科目

修得単位数：2単位

修得単位数：2単位

「英語Ⅰ」
「英語Ⅱ」

「英会話」「上級英語」
「プレゼンテーション」

卒業要件 >>> 必修科目4単位を含む6単位以上修得すること

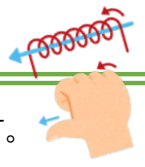
「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」をスムーズに学修するために

「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」は【Advanced】【Intermediate】【Basic】の3種類に分かれています。

Advancedクラス	リーディングスキルを学んで英語の運用能力を高めます。発展的内容を調べて整理し、英語で発表できるようになることを目指しましょう。
Intermediateクラス	現状の英語力をさらに伸ばし、長文を読むための力を強化します。英語に対する興味をさらに深めましょう。
Basicクラス	基礎的な英語力を養います。リーディングに関わるアクティビティを行い、英語の内容を理解した発音・発話ができるようになりましょう。

- ・ プレースメントテストの結果に応じて指定されたクラスを履修します。
- ・ クラスについて質問がある場合は、クラス指定通知にある問い合わせ先に連絡してください。
- ・ 自分のクラスを確認したら、サポータルで自分で履修登録を行います。
- ・ 1年生のうちに、必修科目の「英語Ⅱ」まで修得することを目標としましょう。

理数系科目



理数系科目には、**数学科目**、**物理科目**、**化学科目**があります。
1年次に開講される授業は表の通りです。

	数学	物理	化学
1年春学期	<ul style="list-style-type: none"> 工学のための数学Ⅰ →機械科・ロボ科必修科目 	<ul style="list-style-type: none"> 知っておきたい自然のしくみ 工学基礎実験 (時間割に学科指定あり) →全学科必修科目 	<ul style="list-style-type: none"> 化学の基礎 (時間割に学科指定あり)
1年秋学期	<ul style="list-style-type: none"> 工学のための数学Ⅱ →機械科・ロボ科必修科目 	<ul style="list-style-type: none"> 工学を学ぶための物理 →機械科・ロボ科必修科目 工学基礎実験 (時間割に学科指定あり) →全学科必修科目 	<ul style="list-style-type: none"> 化学の基礎 (時間割に学科指定あり)

数学科目では、工学を学ぶうえで必要となる基礎的な数学を理解し、応用力を身に着けます。

物理科目では、工学分野の基礎となる自然の法則を体系的に理解します。

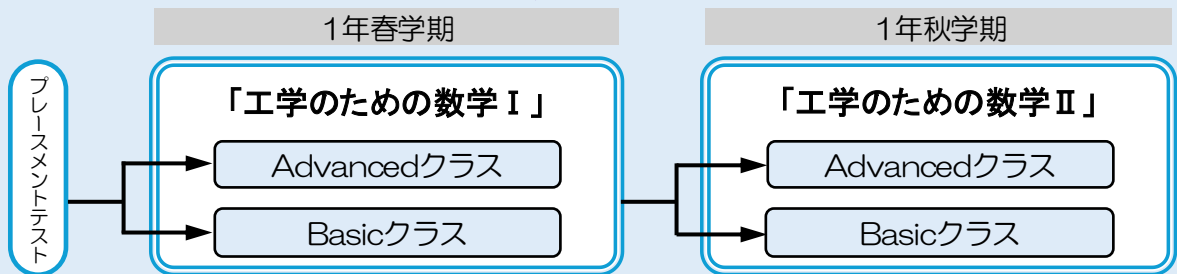
全学科必修科目の「工学基礎実験」では測定手法やレポート作成法を実験を通して修得します。

化学科目では、工学基礎として、化学未履修者もおさえておきたい基礎的な内容を学びます。

学科によって必修科目が異なります。詳しくは学生便覧を参照してください。



数学科目



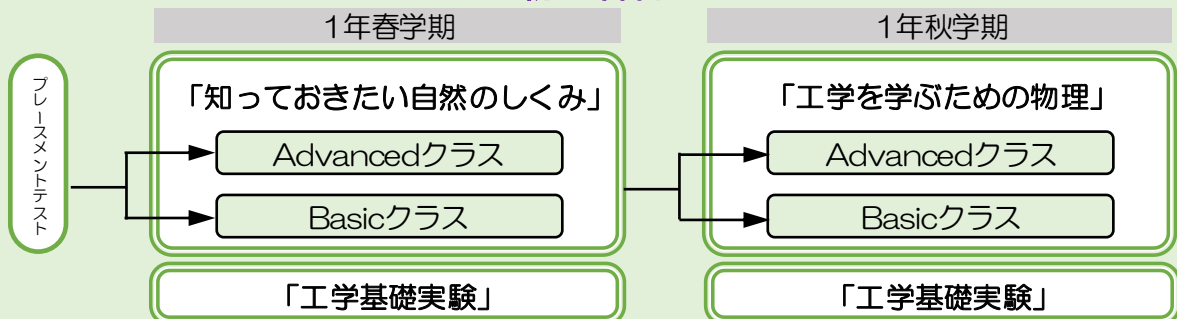
「工学のための数学Ⅰ」 1変数関数の微分積分、2変数関数の微分積分

工学を学ぶためのスタートとして、1変数関数の微分積分、2変数関数の微分積分をポイントを絞って学びます。専門科目の学習がスムーズに進むように、この学習を通じて数学の土台を固めます。

「工学のための数学Ⅱ」 ベクトル、行列、行列式、固有値・固有ベクトルなど

工学を理解する上で必要不可欠な「ベクトル」や「行列」といった、いわゆる線形代数学を基礎から体系的に学ぶことで、さまざまな自然現象を数式で考えるための基礎力を養成します。

物理科目



「知っておきたい自然のしくみ」 力と運動、流体と圧力、波動、熱、電気、磁気

⇒自然現象の基本原理を幅広く扱い、工学分野の理解につながる基盤づくりを行います。

「工学を学ぶための物理」 運動の法則、仕事とエネルギー、運動量と角運動量、質点系など

⇒工学に直結する力学の基礎を体系的に学ぶことで、応用へとつながる物理的思考を養います。

「工学基礎実験」

⇒P.6「工学基礎実験」(必修)について、を参照してください。

数学科目・物理科目をスムーズに学修するために

- それぞれの科目には、基礎から発展的な内容まで扱う【Advancedクラス】と、高校で物理、数学Ⅲを履修していなくてもいちから学べる【Basicクラス】があります。自分の実力にあったクラスを選択し履修することができます。
- 春学期は、プレースメントテストの結果をもとに、履修推奨クラス（Advanced/Basic）をお知らせします。クラス選択の際、参考にしてください。
- すべての授業に出席してください。毎回出席を取ります。
- 出席回数が少ない、授業態度が良くない、テスト等の結果が芳しくない場合は担当教員との面談を実施します。

成績評価方法

工学のための数学Ⅰ 工学のための数学Ⅱ	中間テスト、期末試験、レポート・確認テストをもとに評価する。
知っておきたい自然のしくみ 工学を学ぶための物理	5回の小テストをもとに評価する。 全ての小テストで合格点をとると、単位修得となる。 (何度でも追試験を受験できる。)

「工学基礎実験」(必修)について

この科目は、実験科目であるため出席と実験レポートの提出は必須です。実験は数人のグループで行いますが、機材や教室の制約から学科によって履修時期(学期、曜日、前後半)が決まっています。そのため、**指定された時間割に自動的に履修登録されます**。また、授業の情報発信(掲示、予習、課題提出など)は主にTeamsを使用して行います。下記の表に示された学科ごとの履修時期と、自分が割り当てられている時間割をポータルサイトで確認するとともに、**詳しい開始時期・クラス分けの案内はTeamsで必ず確認をしてください**。

	機械工学科 環境生命化学科	建築学科 (両コース)	情報メディア工学科 データサイエンス学科	電気情報工学科 ロボティクス学科
学期・曜日	春学期 水曜日	春学期 木曜日	秋学期 水曜日	秋学期 木曜日

この科目は**1年で1度だけの履修しかできません**。不合格になった場合は、次年度に再履修することになります。2年生以降の専門実験・演習の基礎を学ぶ内容なので、1年生で必ず修得しましょう。

専門科目 カレッジマイスタープログラム「物理体感工房」の履修のすすめ

カレッジマイスタープログラム(CMP)は、通常の座学や実習の授業とはひと味違う、より実践的な工学的課題に挑戦する、本学独自の教育プログラムです。14のテーマ別に授業科目として開講しています。詳細は学生便覧をご確認ください。

このCMPの授業科目の1つである「物理体感工房Ⅰ～Ⅵ」は、全学科で専門科目の単位となります。自由な発想でオリジナルの科学作品を構想し、自らの手で具現化を目指します。**物理体感工房のガイダンスは、4月10日(金)と14日(火)の17:00～17:30に、E24棟206室で開催されます。**履修希望者は、いずれかの日程で必ずご参加ください。



環境問題をテーマとしたビタゴラ装置



コンテンツスピーカー

履修方法・科目の内容に関する相談窓口

一般的な窓口対応時間は、月～金 9:00 - 17:00です

相談内容	相談先	場所
共通教育科目の履修について 教員研究室の場所について	共通教育学群事務室	① 2号館1階 (2-172室)
学修の相談/つまづき/学び直しなど	学修支援センター ※学修相談は10:00から	② 5号館1階
履修している授業の内容について	授業担当教員（オフィスアワー）	各教員研究室（場所の 問い合わせは①にて）
教職課程について	教職教育センター	② 5号館2階 (5-201室)
全ての科目における履修方法全般について	教務課	③ 1号館1階
こころの相談（メンタルヘルス, 対人関係, 進路などの悩み）	学生相談室	③ 1号館1階 (1-106室)

関連研究室・センター

名称	場所
英語教員研究室	④ W1棟2階
数学教員研究室	④ W1棟2階
物理教員研究室	⑤ E24棟2階
英語学習サポートセンター（ELSC）	② 5号館2階
健康管理センター／健康・体育研究室	⑥ 体育館横
LCセンター	⑦ 桜の広場横

